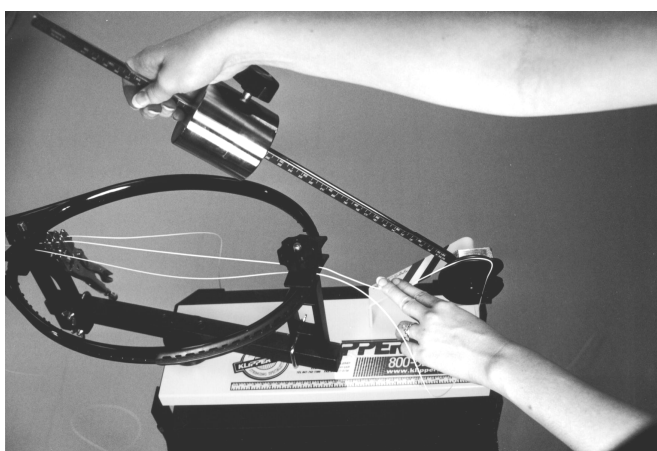




すると、写真のように「stringer」が閉じてstringをつかみます。
 おおよそ 6 本のラケットのstringを終えた時点で、「stringer」を通るstringが滑るのを経験するでしょう。
 そうなったら、A-3-2 ページの説明に従ってメンテナンスを実施してください。

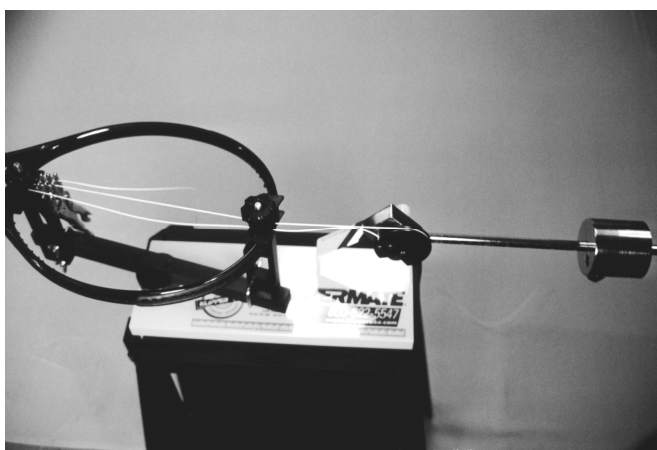
注意：細かったり滑りやすかったりするstringの場合、stringを「stringer」の外側の溝に沿って周りを一周した後に、前のページのA・B・Cのステップを実施してください。（つまり余分に1周します。）=A-22 ページ参照

また、特に滑りやすいstringには、stringに着手する前に、乾いた布でstringをよく拭いて、stringに付着しているシリコンを取り除いてください。



次に、左手でstringがゆるまないように下に押して軽くテンションをかけてください。
 そしてその間に、「テンションロッド」が水平になるまで、右手でゆっくりと「テンションロッド」を時計回りに回してください。

注意：「テンションロッド」に対して、無理に力を加えたり、引っばったり、逆に下から支えたりしないでください。
 あくまでも、「テンションウェイト」の重力のみにテンションをゆだねてください。



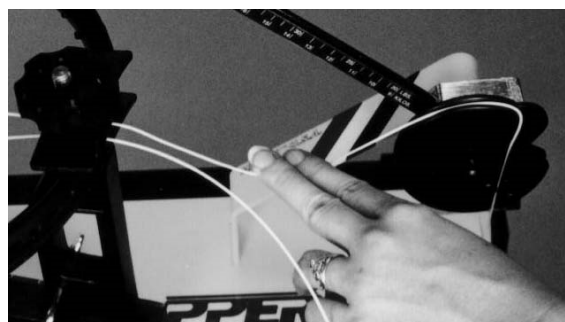
左図のように、「テンションロッド」が時計の3時の方向（水平位置）で停止した状態が最も正確なテンションがかかっています。

水平位置にうまく到達出来ない場合は、最初の位置（「テンションウェイト」が左斜め上にあるアップライトポジション）に戻す必要があります。

「テンションロッド」が十分に下に落ちなければ、もっと（ラケットとstringerの間で）stringをたるませなければなりません。

また「テンションロッド」があまりに落ちすぎたら、たるみを少なくしなければなりません。

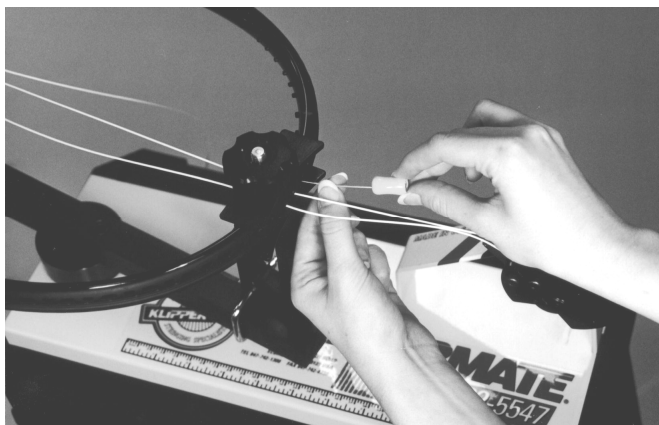
※より堅いstring（ポリ等）は、柔軟なstring（ナイロン等）に比べて、より多くのたるみを必要とします。



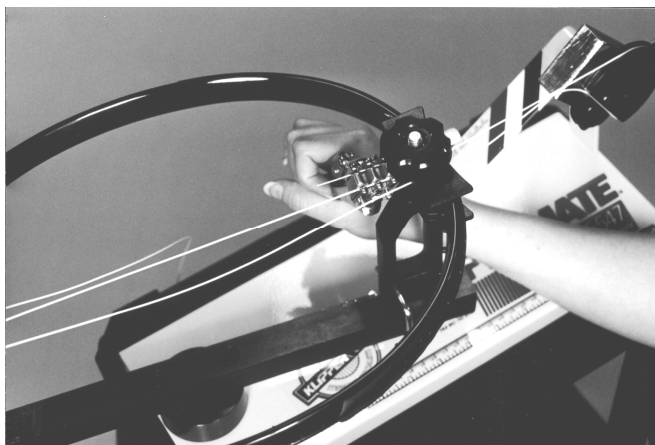
「ストリングジョー」を掛け直すには、「テンションロッド」を反時計回りに動かして、ストリングのたるみを調整し、再び時計回りに回転させ、本来の適切な水平位置にします。

ただ、「テンションロッド」は 正確なテンションに向けて完璧な水平レベルでなくても良いのです。

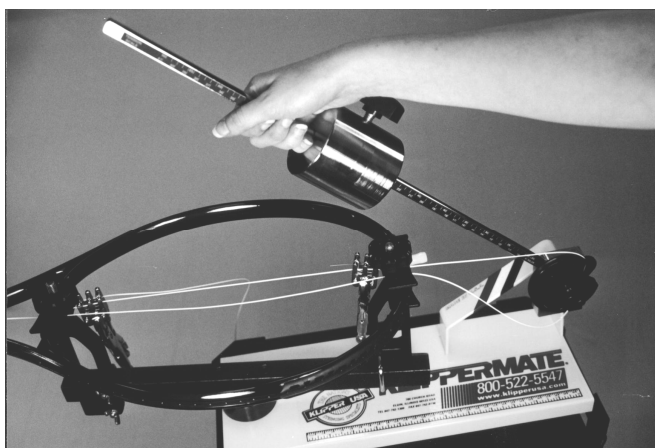
「テンションロッド」が上に4センチから下に4センチの間に位置していれば適切なテンションが達成されています。この、8センチの間は同じ精度であると言えます。



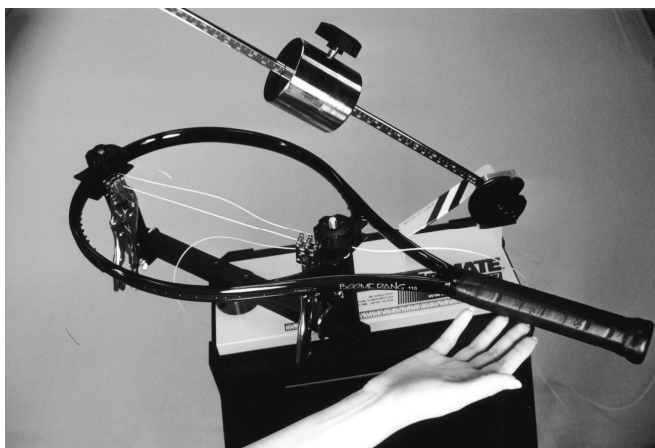
さあ、トップフレームにある、次にストリングを通す予定の空いたホール（A-5-2 ページのストリングガイド図の L2）に、「スタートピン」を突き刺してください。（メンテナンスパックにある小さな工具です）（内容物写真参照）



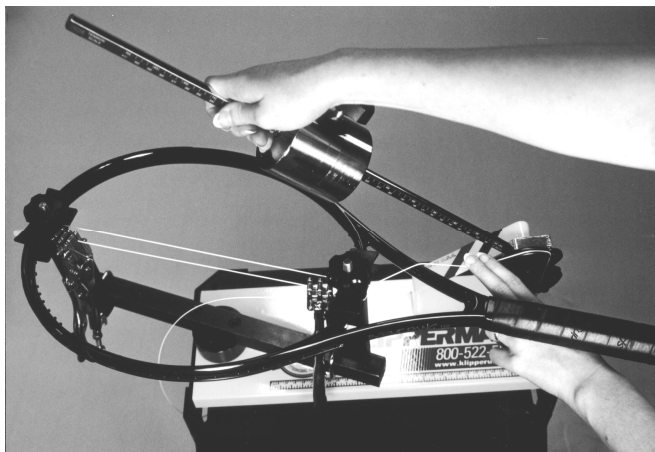
テンションが効いている間に、もう一つの「ダブルストリングクランプ」で「スタートピン」とストリングをテンション維持のために、クランプ（挟み込む）してください。



「テンションロッド」を元の左斜めポジション（アップライトポジション）に戻し、ストリングを「ストリングジョー」から外してください。
注意：「テンションロッド」を戻したら、「ダブルストリングクランプ」が少し動くことに気づくでしょう。これは普通におきることです。「ダブルストリングクランプ」は次の動作準備のために、本来の位置に動くのです。



次に、ラケットを左に回して、180度回転させます。



スロートエリアから、右中央のメインストリング（A-5-2 ページのストリングガイド図のR1）を「ストリングジョー」に引っかけてください。
「テンションロッド」をゆっくりと動かして、水平ポジションにもっていきます。